



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創立 1969. 5. 30 会長 尾崎敬則
幹事 村上泰啓 会報委員長 小原一眞

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2327

2017-6-16

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェイトンホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30



Rotary Serving Humanity

人類に奉仕するロータリー

2016-2017年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

本日の例会) 6月16日(第3例会)

- 3分間情報 杉原 茂会員
- 新会員自己紹介 宮田正人会員
- 卓話 「更生保護に従事して」 山下健三会員

次週のお知らせ) 6月23日(第4例会)

- 卓話 「この一年を振り返って」 中谷佳正副会長
- 臨時総会 13:20~
- 食膳 <フランス料理 軽食ワンプレート>

次々週のお知らせ) 6月30日(第5例会)

- 退任挨拶 尾崎敬則会長 村上泰啓幹事 小林正啓 SAA

先週の記事) 6月9日(第2例会)

- 出席報告
出席会員 39名 (内免除会員 9名)
会員総数 50名 (同上 17名)
ゲスト 2名
ビジター 0名
計 41名
ホームクラブ出席率 92.86%
5月26日(第4例会) 補正出席率 97.62% (MU3名)
- ゲスト&ビジター (敬称略)
田中研一 (ガバナー補佐)
末吉勘四郎重久 (ガバナー補佐エレクト)

◆ ガバナー補佐ご挨拶 ◆



ガバナー補佐
田中研一氏

今年度ロータリーも残すところ1カ月を切りました。1年間大変お世話になりありがとうございました。お陰を持ちまして無事、次年度ガバナー補佐 末吉様にバトンを伝達することが出来そうです。次年度以降もどうか宜しく願い致します。

特に三度のG補佐訪問に際しては細やかなご配慮いただきましたこと、又、合同例会やIMロータリーデーに多数会員の皆様にご出席いただきましたこと、深くお礼申し上げます。

今年度は昨年7月1日の規定審議会での「大幅な柔軟性の導入」から始まり、ロータリーの在り方や活動についても常に変革や多様性が話題に上がる年でした。そんな中、幸いにも「会員の資格」や「ロータリーの目的、職業奉仕の意義」と言ったロータリーの根本に係わる議論の場にも何度か出席させていただき、いろんな考え方を聞くことが出来ました。

「ロータリーの進む道や奉仕の在り方はどうあるべきか？」

やはり答えは一つではなく、その選択は各クラブに任されているようです。ただこれからのロータリーは、今まで以上にそれぞれのクラブの独自性が求められることだけは間違いがないと感じました。

規定審議会報告会で、あるRI理事の大先輩が話された言葉が印象に残っています。「RCも新入会員をクラブが選ぶ時代から、それぞれのクラブの特色、特徴によってクラブが入会者から選ばれる時代へと変わりつつある。」どうも有難うございました。

◆ ガバナー補佐エレクトご挨拶 ◆



ガバナー補佐エレクト
末吉勘四郎重久氏

本日は次年度のガバナー補佐を務めます末吉でございます。

田中ガバナー補佐にご指名いただきました。

会員歴など諸先輩方から比べて若輩者ですが、次年度一年よろしくお願ひ申し上げます。いろいろと勉強の機会と思っています。

本日はありがとうございます。

◆ 会長の時間 ◆

田中研一ガバナー補佐、末吉勘四郎重久ガバナー補佐エレクト様、ようこそお越しくださいました。ありがとうございます。さて、今日は、クラブ創立31年から40年頃までを振り返りたいと思います。1990年代の80名を超える会員がおられた時と異なり、2000年代になると、会員数は72名から60名程度になりました。そして、当クラブ提唱の明浄学院高等学校IAが、IAの海外研修や年次大会のホストをしたりしていましたが、いろいろな事情で、2004年、廃部となりました。また、

6月はロータリー親睦活動月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

事務局が都ホテル大阪から元の近鉄百貨店上本町店に移動したり、会報について変革の試みがあったりもしました。そうして、2004年5月22日、創立35周年記念式典を迎え、前夜の太閤園での歓迎会、当日の都ホテル大阪での記念式典、祝宴、全国城南会には大勢の参加がありました。また翌23日には、RIの国際大会が大阪で開催され、なんと約100カ国から4万7千人の参加があったと報じられるという、大変、楽しい時期でした。その後、2005年7月、ガバナー補佐に畑田会員が就任。さらに2009年には、岡部泰鑑会員がガバナー・ノミニーに選ばれました。岡部泰鑑会員がガバナーになられるということは、お人柄によるところが大きいと思いますが、当クラブの評価もきわめて高いことを意味しているのだとも思い、大変誇らしく感じました。こうして、我がクラブは40周年を迎えるのです。

◆ 幹事報告 ◆

最近の理事会の報告をいたします。

- ・本日ポストされています城南RC細則について6月23日の臨時総会でご審議いただくため6月23日例会の際、臨時総会を開催することが決まりました。
- ・7月に請求する周年基金について、50周年として2万円を増額して合計2万9千円とすることについて承認され、その総会でご審議いただくこととなりました。
- ・ロータリー城南会は新しく福岡RCの向江さんがロータリー城南会会長となられました。大阪城南RCのロータリー城南会の担当は前年度の会長・幹事が務めることとなりました。
- ・50周年記念準備委員会委員長に南賀会員、副委員長に山本英樹会員、尾崎会員を選任し、式典は2019年5月25日(土)シェラトン都ホテル大阪で行う予定となりました。

◆ 委員会報告 ◆

・ご寄付について

R財団・米山奨学委員長 南賀勝之
梅崎会員、宇津井会員、井上会員、濱田会員よりご寄付いただきました。

※「ロータリーの友」6月号の紹介は誌面の都合上、次の掲載になります。

卓話

6月9日 <第2例会>

「鉄道の安全文化について」



宇津井隆夫会員
今日は事故の歴史を紐解きながら安全文化についてお話しします。安全工学では、事故は安全対策の教訓の場、と言われております。事故は未然に防止すべきですが、長い歴史の中では尊い犠牲を払って対策が生まれてきた

のが事実です。

また安全輸送を生業とする交通機関にとって事故は不祥事です。昔なら事実そのものが隠蔽されたり、虚偽の原因が記録されやすいという側面があります。

また過去の事故の背景を探ると、当時の経済状況や社会状況が垣間見えます。特に戦時中、戦後の混乱期には資材不足、徴兵によるにわか要員の訓練不足など特有の事故が起こっています。

現在、日本の鉄道は世界一安全と言われるレベルを堅持しています。追突した新幹線を直ちに埋めようとした国もありますが、日本では事故車両は大切に保存され、社員教育に使われている例もあります。従業員にはどんな教科書より衝撃的な教材です。

本日は明治10年のわが国最初の正面衝突事故と平成3年の信楽高原鉄道事故について紹介します。いずれも直接の原因は列車の冒進ですが、そこに至る数多くの複雑な要因を紐解いてみたいと思います。

一昨年には北海道でも保守不足に起因する事故が多発しました。鉄道という労働集約型の巨大な装置産業を維持するには、国や地域を巻き込んだ支援体制が必要です。十分な議論のもと、必要な投資、保守、人材教育が行われ、未来にわたって安全運行を続けてほしいものです。

アジアでも都市鉄道や高速鉄道の計画が盛んですが、国際入札になると日本は価格面で苦しい戦いを強いられます。世界一の安全輸送のノウハウを強みにして、他国との競争に打ち勝ってほしいと願っています。

ここにこ箱

6月9日(第2例会)

- ・田中ガバナー補佐、末吉ガバナー補佐エレクト2名をおむかえして。 境会員
- ・田中ガバナー補佐、末吉ガバナー補佐エレクト様、ようこそお越しくださいました。田中ガバナー補佐には大変お世話になりました、また末吉エレクトにはどうぞよろしくお願いいたします。 尾崎会員
- ・今日もマニアックな話で失礼します。お付き合いいただけたら幸いです。 宇津井会員
- ・2週連続で学校行事のため欠席しました。その間の卓話原稿が遅れました。西澤さん、申し訳ありませんでした。 浅井会員
- ・ロータリーバッジ忘れしたのでニコニコ。 佐伯会員
- ・井上さん、ありがとうございます。これでスケータリング上達できそうです。 武田会員

(編集担当 小原・宮田)

会員増強にご協力を!!